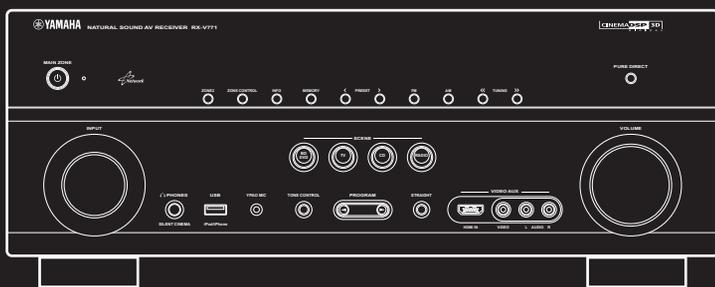


AVレシーバー

RX-V771

かんたん設置ガイド



ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。

本書では、5.1または7.1チャンネルシステムを設置して、
本機でBD/DVDのサラウンド音を再生するまでの手順を案内します。
詳しい説明は、別冊の「取扱説明書」をご覧ください。

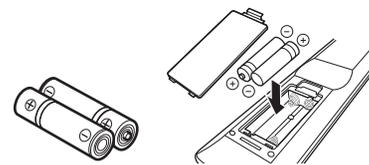
本書と「取扱説明書」のPDF版を以下のウェブサイトからダウンロードで
きます。

<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

1 準備する

付属品を確認する

すべて揃っていることを確かめください。


 リモコン

 単4乾電池(2本)
正しい向き(＋と－)でリモコンに入れてください。

 電源コード

 AMアンテナ

 FMアンテナ

 前面入力端子
保護用キャップ

 YPAO用マイク

 取扱説明書

 かんたん設置ガイド(本書)

必要なケーブル

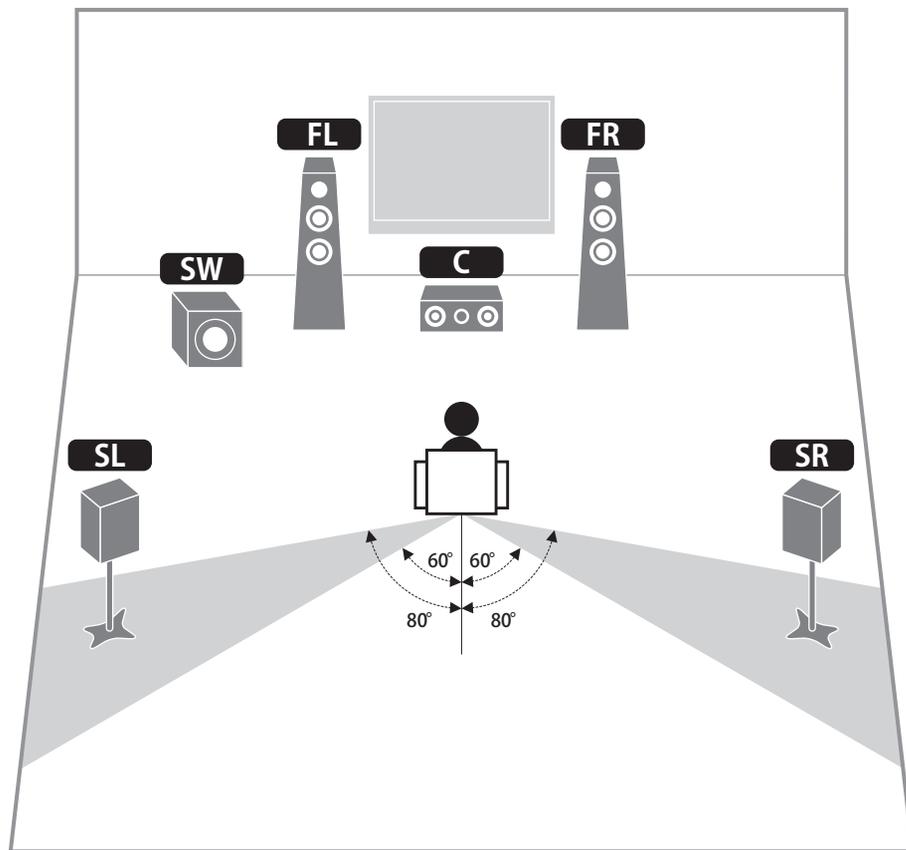
本書の説明どおりに接続する場合、以下のケーブルを別途で用意ください。

- スピーカーケーブル(スピーカーの本数分)
- HDMIケーブル(2本)
- モノラルピンケーブル(1本)
- 光デジタルケーブル(1本) ※ テレビがARC対応の場合は不要

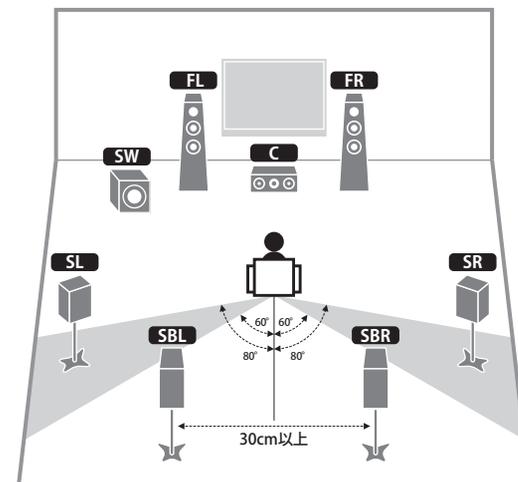
2 スピーカーを部屋に配置する

下図を参考に部屋にスピーカーを配置してください。5.1チャンネル、7.1チャンネル以外のシステムでお使いになる場合は「取扱説明書」をご覧ください。

5.1チャンネルシステム



7.1チャンネルシステム



- FL** フロントスピーカー(左)
- FR** フロントスピーカー(右)
- C** センタースピーカー
- SL** サラウンドスピーカー(左)
- SR** サラウンドスピーカー(右)
- SBL** サラウンドバックスピーカー(左)
- SBR** サラウンドバックスピーカー(右)
- SW** サブウーファー

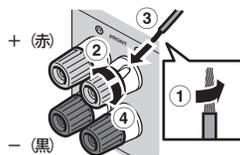
3 スピーカー/サブウーファーを接続する

- ・スピーカーはインピーダンスが6Ω以上のものをお使いください。
- ・サブウーファーはアンプ内蔵のものをお使いください。
- ・スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから外してください。また、サブウーファーの電源を切ってください。
- ・スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、本機の金属部に触れたりしないようにしてください。本機やスピーカーが故障する原因となります。スピーカーケーブルがショートしている状態で電源を入れると、前面ディスプレイに「CHECK SP WIRES」と表示されます。

スピーカーケーブルを接続する

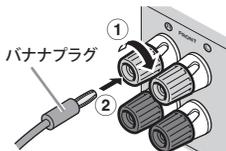
通常スピーカーケーブルは2芯(+と-)で1本になっています。片方で本機とスピーカーの- (マイナス) 端子どうし、もう一方で+ (プラス) どうしを接続してください。色で区別されている場合、黒を- (マイナス) 側、もう一方を+ (プラス) 側と決めておく間違わずに接続できます。

- ① ケーブル先端の絶縁部(被覆)を10mmほどはがし、芯線をしっかりとよじる。
- ② スピーカー端子をゆるめる。
- ③ 端子側面(右上または左下)のすき間にスピーカーケーブルの芯線を差し込む。
- ④ 端子を締め付ける。

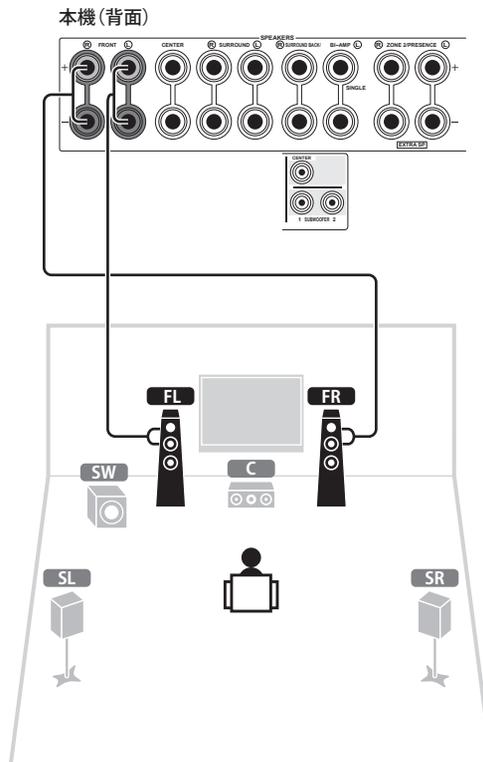


バナナプラグを使用する場合

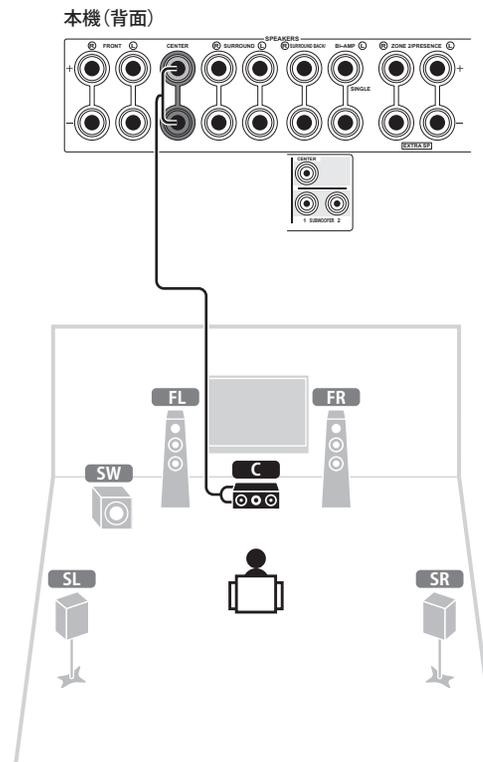
- ① スピーカー端子を締め付ける。
- ② 端子にバナナプラグを差し込む。



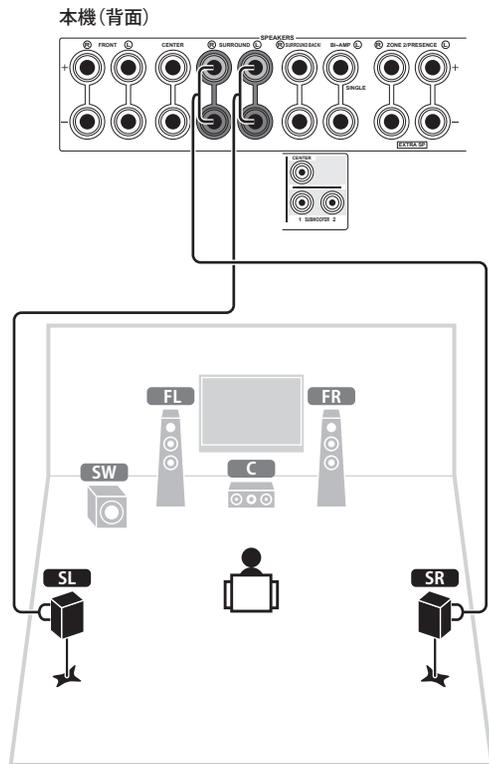
1 フロントスピーカー (FL / FR) を FRONT (L/R) 端子に接続する。



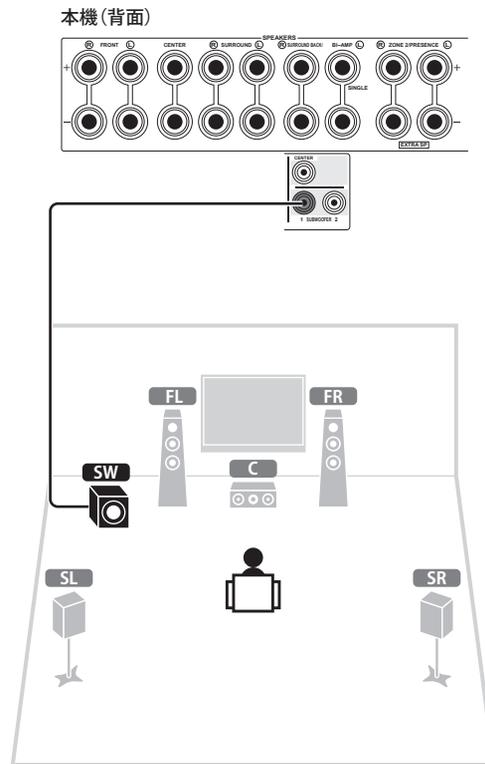
2 センタースピーカー (C) を CENTER 端子に接続する。



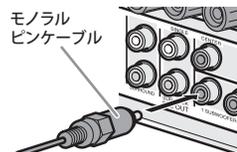
3 サラウンドスピーカー (**SL** / **SR**) を SURROUND (**L** / **R**) 端子に接続する。



4 サブウーファー (**SW**) を SUBWOOFER (1) 端子に接続する。

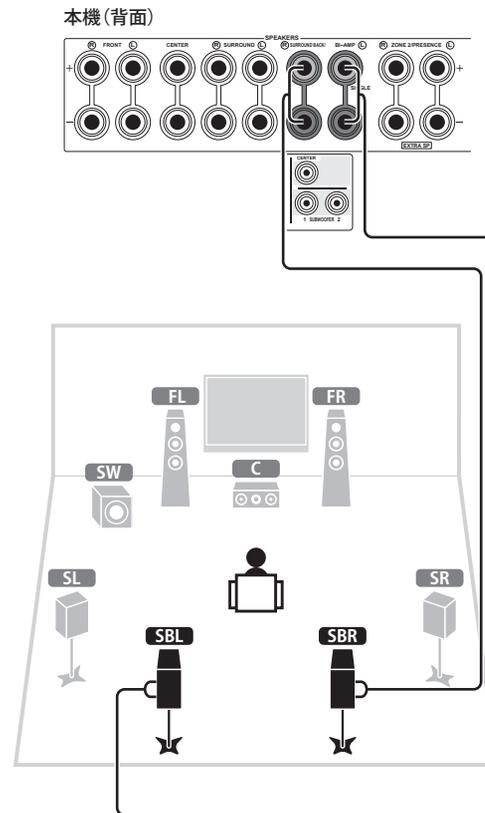


サブウーファー (**SW**) の接続には、モノラルピンケーブルを使います。

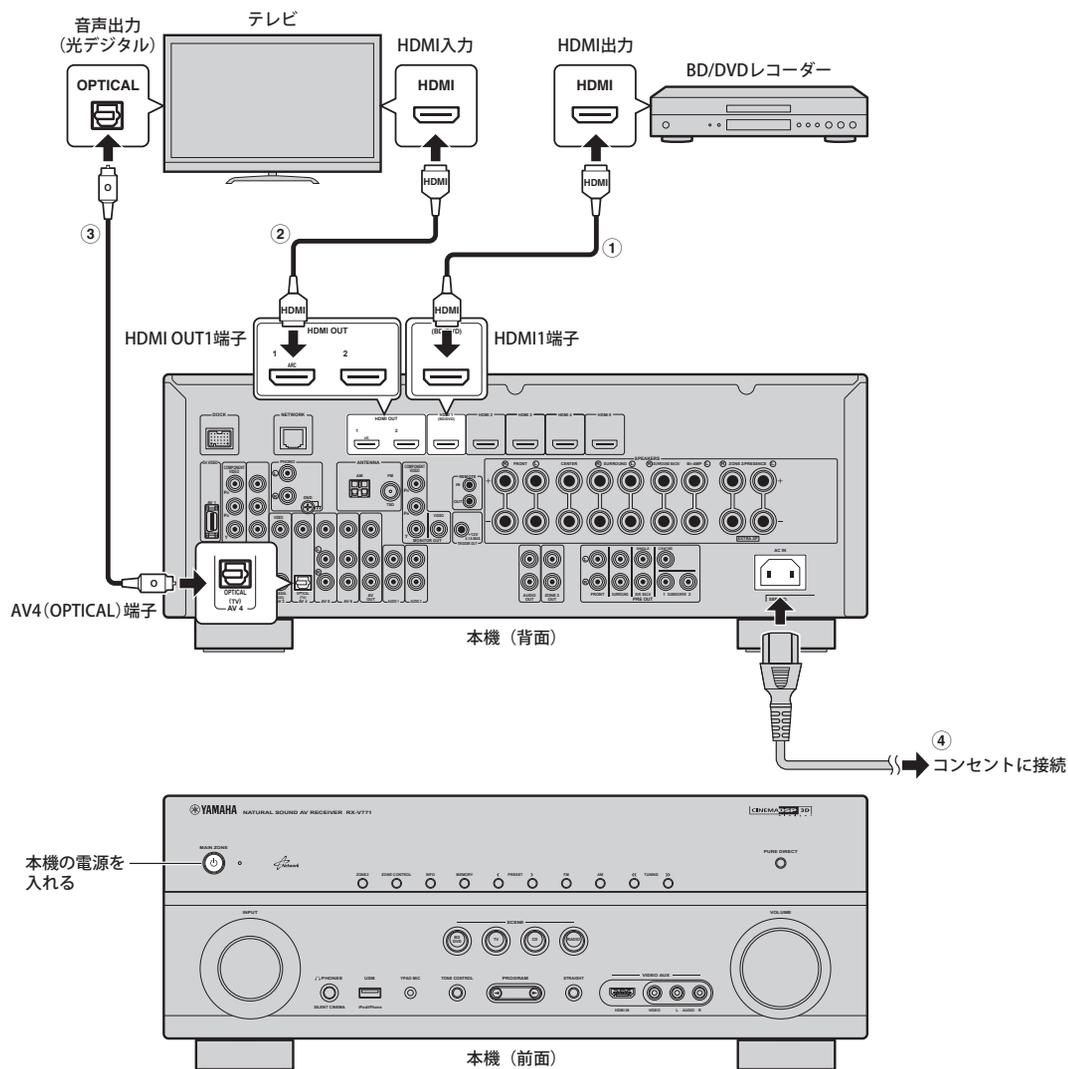


7.1チャンネルシステムの場合

サラウンドバックスピーカー (**SBL** / **SBR**) を SURROUND BACK (**L** / **R**) 端子に接続する。



4 外部機器を接続する



1 外部機器を本機に接続する。

- 1 HDMIケーブルでBD/DVDレコーダーと本機を接続する。
HDMIケーブルでBD/DVDレコーダーとテレビを直接接続している場合は、テレビ側からケーブルを取り外して、本機に接続してください。
- 2 HDMIケーブルでテレビと本機を接続する。
- 3 光デジタルケーブルでテレビと本機を接続する。
この接続によりテレビ音声を本機で聴くことができます。オーディオリターンチャンネル (ARC) 対応のテレビをお使いの場合は、この接続は不要です。
- 4 付属の電源コードを本機に接続し、電源プラグをコンセントに差し込む。



・ラジオのアンテナや、ほかの機器を接続する場合は「取扱説明書」の「準備する」(13 ページ)をご覧ください。

2 本機、テレビ、BD/DVDレコーダーの電源を入れる。

3 テレビのリモコンを使って、テレビ側の入力を本機からの映像に切り替える。

これで接続は完了です。次ページでスピーカー設定の自動調整を行ってください。

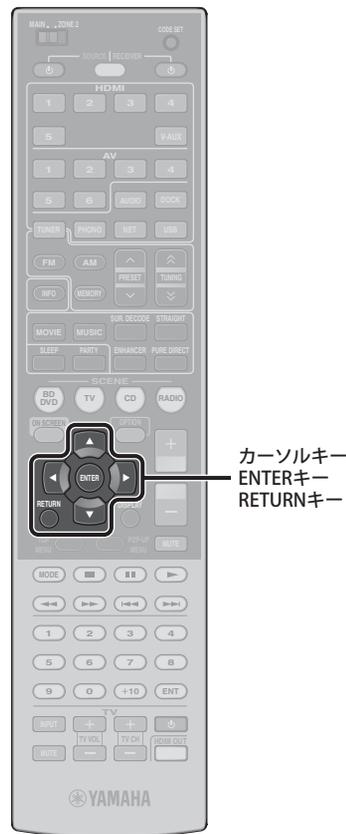
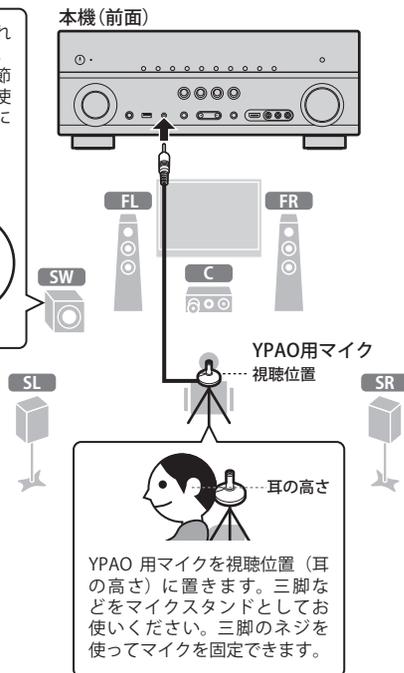
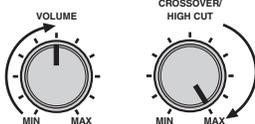
5 スピーカー設定を自動で調整する(YPAO)

付属のYPAO用マイクを使って、スピーカーの接続や視聴位置との距離を検出し、音量バランスや音色などのスピーカー設定を自動で調整します(YPAO:Yamaha Parametric room Acoustic Optimizer)。

- 測定中は大きな音が出されます。小さなお子様がいらっしゃる場合は十分に配慮ください。また、ご近所への迷惑とならないよう夜間の使用は控えてください。
- 測定中は音量を調節できません。
- 測定中は部屋を静かに保ってください。
- ヘッドホンは接続しないでください。
- オートスタンバイ(自動的に電源を切る機能)対応のサブウーファーをお使いの場合は、該当機能を無効にしてください。
- 測定中は部屋の隅に移動するか退出して、スピーカーとYPAO用マイクの間を遮らないようにしてください。所要時間は約3分です。

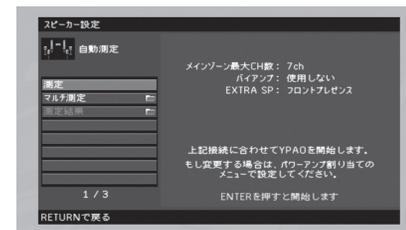
YPAOを始める前の準備

サブウーファーの電源を入れて、音量を半分に調節します。クロスオーバー周波数を調節できるサブウーファーをお使いの場合は、周波数を最大にします。



1 YPAO用マイクを前面のYPAO MIC端子に接続する。

テレビに次の画面が表示されます。



- 操作を中止する場合は、測定前にYPAO用マイクを取り外します。

2 測定を始めるには、カーソルキーで「測定」を選び、ENTERキーを押す。

10秒後に測定が始まります。

測定が終わると、テレビに次の画面が表示されます。



- エラーメッセージ(E-1など)や警告メッセージ(W-2など)が表示された場合は「取扱説明書」の「エラーメッセージ」(39ページ)または「警告メッセージ」(40ページ)をご覧ください。
- 警告メッセージ「W-1:SP接続逆相」が表示された場合は「W-1:SP接続逆相」が表示された場合(次ページ)をご覧ください。

- 3** カーソルキーで「保存/キャンセル」を選び、ENTERキーを押す。



- 4** カーソルキーで「保存」を選び、ENTERキーを押す。



- 5** YPAO用マイクを本機から取り外す。
これでスピーカー設定は完了です。

YPAO用マイクは熱に弱いため、高温になる場所 (AV機器の上など) や直射日光が当たる場所を避けて保管してください。

「W-1:SP接続逆相」が表示された場合

以下の手順でスピーカーの接続を確認してください。
スピーカーの種類や設置環境によっては、正しく接続されていても警告メッセージ「W-1:SP接続逆相」が表示されることがあります。



- ① カーソルキーで「測定結果」を選び、ENTERキーを押す。
- ② カーソルキーで「結線確認」を選ぶ。
- ③ 「逆相」と表示されているスピーカーのケーブル接続 (+と-) を確認する。

正しく接続されている場合:

測定結果をそのまま保存して問題ありません。
RETURNキーを押してから、手順3以降を実行してください。

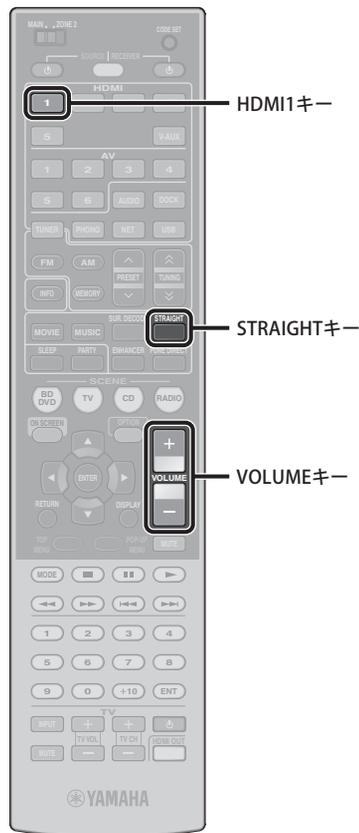
間違っって接続されている場合:

本機の電源を切ってからスピーカーケーブルを接続し直して、もう一度YPAOを実行してください。

6 BD/DVDを再生する

実際にBD/DVDを再生してみます。

サラウンド感を体感するために、マルチチャンネル音声(5.1ch以上)が収録されているディスクの再生をおすすめします。



1 HDMI1キーで本機の入力を「HDMI1」に切り替える。



2 BD/DVDレコーダーでBD/DVDを再生する。

3 STRAIGHTキーを繰り返し押し続けて「STRAIGHT」を選ぶ。



・「STRAIGHT」(ストレートデコード)を選ぶと、ディスクに収録されている各チャンネルの音声が各スピーカーからそのまま出力されます。したがって、7.1チャンネルシステムで5.1チャンネル音声を再生している場合、サラウンドバックスピーカーからは出力されません。

4 VOLUMEキーで音量を調節する。



これで5.1または7.1チャンネルシステムを設置して、本機でBD/DVDのサラウンド音を再生するまでの手順は完了です。

音声がサラウンドにならない場合

マルチチャンネル音声を再生してもフロントスピーカーからしか音が出ないBD/DVDレコーダー側のデジタル音声出力設定をご確認ください。PCMなど、常に2チャンネルで出力する設定になっている可能性があります。

音が出ないスピーカーがある

「取扱説明書」の「故障かな?と思ったら」(108ページ)をご覧ください。

さらにこんな機能も!

ほかにもたくさんの機能があります。

別冊の「取扱説明書」をご参照のうえ、本機の性能を十分に活用ください。

BD/DVDレコーダー以外の機器を接続する(25ページ)

CDプレーヤーやレコードプレーヤーなどのオーディオ機器、ゲーム機やビデオカメラなどさまざまな外部機器を接続できます。

好みのサウンドを選ぶ(43ページ)

映画、音楽、ゲーム、スポーツ番組など、視聴する内容に合わせてお好みの音場プログラム(シネマDSP)やサラウンドデコーダーを選べます。

iPodの曲を再生する(51ページ)

iPod付属のUSBケーブルや、オプションのヤマハ製iPodドックまたはiPodワイヤレスシステムを使って、iPodの曲を本機で再生できます。

- FM/AMラジオを聴く(48ページ)
- USB機器の曲を再生する(58ページ)
- パソコンの曲を再生する(61ページ)
- インターネットラジオを聴く(64ページ)

詳しくは「本機でできること」(6ページ)をご覧ください。